

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 2 月 9 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100603		
法人名	森信建設株式会社 介護事業部		
事業所名	グループホーム なでしこ温品		
所在地	広島市東区温品 5丁目7-1 (電話) 082-280-3596		
自己評価作成日	平成27年1月9日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100603-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100603-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年1月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・画一的な過ごし方ではなく、その日の体調などによって個人々で選択していただく。</li><li>・現在の持つておられる力を維持して、出来るところを取り組んでいただく。</li></ul>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者一人ひとりの生活のスタイルを尊重する為に、活動や催しへの参加はケアプランに位置づけて、個人個人の好みに沿えるように用意している。裏山と幼稚園、畑に囲まれた、自然豊かな環境にあり、それを生かして、保育園との計画的な交流、近所の農家との契約により、無農薬で新鮮な野菜を食事に取り入れている等地域とのかかわりを重視している。</p>
---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝の申し送り時に職員間で唱和し、共有している。レクや行事の計画の際にも運営理念をベースとして実践できるよう取り組んでいる。	利用者のペースに合わせたケアを提供したい、という思いから開設時にみんなで考えた理念を毎日の申し送りで確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入しているため、行事には参加できる体制をとっている。町内会長様にはボランティアで訪問していただき、毎日の散歩時には近所の方と会話して交流をもっている。	町内会の清掃や行事のとんど・夏祭りに参加している。地域の人が月に一度はボランティアで小物作りの指導に来たり、旬の野菜をとどけてくださったりしている。地域の防災マップ作りに向けて、一緒に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	隣の保育園との交流で、行事の際の待ち時間には施設への訪問を受け入れている。また東消防署からの依頼により、温品地区一時避難場所となり、受け入れの体制をとっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回（奇数月）運営推進会議を開催し、地域包括支援センター、町内会長、民生委員、ご入居者、ご家族の参加いただいている。行事報告、事故報告など報告し、意見を聞いて、職員間で取り組んでいる。	会議で尿の臭いが気になる、挨拶が徹底していないとの指摘があり、直ぐにミーティングに於いて職員間で話し合い、排泄物の処理方法の改善、及び注意喚起をしたことで改善された。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事故報告などは、市町担当者に必ず連絡を入れ、時間経過の報告もおこない、指導いただいたことを職員間で共有し、取り組んでいる。	地域包括支援センターとの連携は密に取られている。今後地域ケア会議など開催されれば積極的に参加していく予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ミーティングによって身体拘束のとらえ方は職員間で共有している。介護においても職員間で指摘し合いながら、取り組んでいる。施錠はしていない。安全ベルト使用で入所された方へは見守りで使用されない様取り組んでいる。(ご家族には説明済み)</p>	<p>「身体拘束防止マニュアル」を作成して、全員に配布している。個人の理解度に差が生じていることから、今後は研修計画を立てて、全員の理解度を高め実践していくこととしている。車椅子への拘束で入居された人について、家族に説明と同意を得た上で、見守りと声かけで改善できたことがある。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員間でお互い気になることは報告をあげることを徹底している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>まだ職員間で勉強していません。機会をもつよう調整します。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約までに、しっかり納得されるまで説明をおこなっている。終結・解約時においても、理解いただけるまでお話している。改定の際には文章を提示しての説明をおこなっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>要望は職員間で共有している。また、運営推進会議での報告はもちろん、その場でのご意見をご家族へ文章にてお伝えしている。</p>	<p>運営推進会議に、家族と利用者にも出席して頂き意見の聴取に努力している。その中で出た意見については「なでしこ便り」を月に一回発行し外部、内部に共有できるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の希望する休日など、聞いて、勤務に支障のないよう対応している。個人の環境においても職員の負担のない範囲で理解している。	管理者は月1回のミーティングに出席して出た意見を代表者に報告して検討するようにしている。	管理者とスタッフとが、ミーティングの時に限らず、日常的に気づきがあったら直ぐに相談・報告できるような体制作りをすることが望まれます。例えば、各階に責任者を置く等現場の組織についての確認、検討がなされると、よりスピード感を持って問題の解決が出来ると思われれます。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者と毎日連絡をとって、勤務状況の把握に務めている。また、職員にできるだけ声をかけて、職員の声を直接聞けるよう取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修参加への声かけは常時している。そのため法人内外での研修内容の提供も管理者へあげている。職員のスキルアップを常に意識して育成している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修参加で意識向上をしていければと考えている。個人での交流は認めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接で得られる情報をしっかり受け止め職員で共有している。入所されてから得る情報も含めて、職員間での話し合い、記録などで、申し送り、信頼関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族が持つておられる意向を受けとめて、ご本人がどのように生活されているか見えるように、連絡報告させていただいている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前面接でしっかり、意向をお聞きして、入居時、ケアプランを説明させていただいている。徐々に生活にも慣れられた様子をモニタリングにおこし、ご家族に報告させていただいている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>できる力を確認させていただいたあと、ご自分でできることは時間をかけても取り組んでいただいている。できる事が、少しでも多くなる様取り組んでいる。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族には体調の変化や薬の増減など、報告させていただき、ご本人の状態をわかっているようにしている。ご本人がホームにおられることでご家族が不安なくご自身の生活を送られるよう支援させていただけるよう取り組んでいる。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会に入所前のご近所の方やご友人、ヤクルトさんまで、何回も来られている。またご一緒での外出もキーパソンの方の了承をいただき、実施されている。</p>	<p>ご家族の都合や要望を聞き、外泊をして頂くように働きかけている。友人や今まで親しくしていた人の面会については、ゆっくり出来るように自室、面会室を使って頂くようにしていることで平日でも2～3組の面会がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が関わって、孤立しないよう声かけしている。レクなどで、お互いに認め合う言葉が交わされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	特養に移られた方には、退所1ヶ月間は、面会に行ったり、情報提供をおこなってきた。今後、必要時には情報提供や、協力体制もとらせていただく方針である。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	決め事はお一人お一人に、お聞きして、小さなことでもご自分で決めていただいている。ご要望(思い)を伺うと、実現できるよう職員間で話し合い、とにかく、やってみることにしている。	入居前に複数で訪問面接を実施し、情報収集からケアプランの作成をしている。入居後は日々のかかわりの中で要望を聞き、毎日の申し送り時に話し合いの時間を取り、全員で取り組むようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時には情報は少ないことが多いが、入居後の関わりで、沢山情報が把握できている。職員間で共有し、信頼関係を築くために理解、把握をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	まずは、体調管理に努めている。痒み、痛みが和らいだあと、穏やかに、ご自分の時間をご自分で決めて使われるよう、職員で声かけ、見守り介助をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人とご家族の意向をうかがい、日常生活での問題を解決できるよう職員の視線で促えた目標を担当者会議で提示し話し合っている。長期目標と短期目標をご本人、ご家族へ説明している。サービス内容の取り組み、結果などご家族へ報告している。</p>	<p>ケアプランの変更時には、本人・家族に担当者会議に出席して頂くようにしている。関わる職員も可能な限り出席をしていて、方向性の共有が出来ている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別の記録においては職員ごとの差がある。ミーティングや、アセスメント、モニタリングの際に、記録の重要性を職員には伝えているが、まだ徹底できていない。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>体調などに留意して、出来ることを臨機応変に対応している。職員個人の意見ではなく、職員間で話し合っ、連携によって、お一人ずつ違ったサービスを対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>書道が得意な方には、要望にて町内会での垂れ幕を書いていただいている。民生委員の方には、アドバイスをいただき、保育園や消防とは緊急時における関わり方での連携をとっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>近所の畑を作っている方には、野菜を置いて下さる関係となっている。契約終了承いただいているかかりつけ医の往診で必要な専門医への受診を受けて、体調に不安なく生活ができるようになっている。</p>	<p>入居時に係る医療に付いての確認をとって希望を重視して対応している。協力医院は、緊急時の対応と週一回の往診をずる態勢作りが出来ている。歯科は週2回の往診がある。また、訪問看護との連携も取れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師に相談をしかかりつけ医に連絡をとり、適切な受診を受けられるようにしている。排泄状況など、確実に職員との話し合いで、対応とり、安心して生活できている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	まだケースとしてはないが、病院、老健ともに、後方支援の関係を築いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時には、重度化や終末期に向けた方針を説明させていただき、ご理解をいただいている。まだケースとしてはないが、医師、看護師、家族、職員のチームで関わらせていただけるよう把握している。	入居契約の時に「重度化における対応」の指針を定めて同意書の作成をしている。看取りのケアが出来る体制を取っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ミーティングにおいて、緊急時の連絡体制、対応など勉強している。今後、頭でなく体が動くよう繰り返し実践力を習得しなければならない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災時における消火訓練など、内外の研修を実施している。町内会での防災マップ作りに参加予定となっていて、町内会との協力体制は築いている。	消防、避難訓練を事業所独自で年2回の実施をしている。今後、町内会での防災マップ作りに参加して地域との協力体制を築いていくこととしている。施設の倉庫には災害時の備蓄の用意がある。	近隣との良好な関係が築かれていることから、今後の課題として近隣の住民と一緒に防災計画を立て、避難訓練に参加していただくようにすることで更なる協力体制が構築できるものと思われます。



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ファイルの持ち出しや、コピーなどは、厳しく管理している。言葉かけにおいては、その都度、プライバシーに関すると思われる部分は、職員間で指摘し合っている。	個人情報の保護に関する研修を事業所内で実施するように計画を立てている。現在は、日々の介護の中で職員間で注意を促しあっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	トイレ誘導や水分補給の飲み物など、強制的でなく、本人の思いや、自分で選択されるよう対応している。行事参加においても、ご本人の思いをお聞きして、無理のないよう取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調を留意し、入浴、散歩、レクへの参加など声かけをさせていただいている。不穏になられないためにも、ご本人の思いに沿って対応させていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月1回の美容院の訪問で、希望にて髪を整えていただいている。ご要望ある時に職員間の連携で取り組んでいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	しっかり摂っていただけるよう個人に合わせて刻みなど対応している。アレルギーなど把握もしている。見た目でも食欲がでるよう、盛り付けや献立など工夫している。皮をむいていただいたり、具を包んでもらったり、お茶を小分けにしてもらったり一緒にできることを取り組んでいる。	管理栄養士に献立を依頼して栄養管理をしているが、行事や好みの外食については利用者の希望を聞き、各階でそれぞれの工夫をしている。また、調理は専任の調理師を置き、業務の効率化がなされている中でも、盛り付けや、後片付けなど、出来ることは利用者と一緒に実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事量や水分量は摂り易いよう工夫し記録に残している。職員間で1日の量を申し送っている。食べられるよう、個人個人に支援を取り組んでいる。(形状、アレルギー) 体重管理は月1回実施し、訪問看護師、医師へ報告している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、出来るところは見守りの中、ご自分で取り組まれている。難しい部分は、職員が介助させていただいている。2週間に1回歯科医の往診があり、連絡、報告をおこなっている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンを把握するよう取り組んでいる。日中、布パンツで過ごしていただけるよう、取り組んでいる。排泄合図を見逃さないようにしている。	個別の排泄パターンの調査、分析をすることで、事後処理からトイレへの誘導、見守りと声かけでの排泄、更に支援なしでの排泄が出来るようになる、というように、段階的な個別排泄ケアに取り組み、自立に繋がった人も居る。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	動いて出していただくよう取り組んでいる。排便リズムの把握と排泄後の確認、排泄合図など職員間で連携をとり取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	体調に合わせて、取り組んでいる。排便後や、塗布薬のある方など負担にならないよう対応している。無理矢理されない様、信頼関係を築いて、室温、湯温などに注意し取り組んでいる。	週2回は入浴できるようにしているが、夏場や本人の希望があれば3回入ることも可能としている。一人の入浴に一時間程度かかるが一人ずつ湯を入れ替えることで喜ばれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	職員間での連携で、状況に応じたの休息をとっていただいている。寝具、室温なども気持ちよく眠っていただけるよう、対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	確実に服薬できるよう数人の職員が確認してセットしている。服薬時も、誤薬のないよう声出しで確認し、口の中になくなり、飲み込みが確認できるまで目を離さない取り組みを徹底して、記録もしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	できる力を活かして、取り組んでいただいている。マッサージやアロマなどで、気分転換をはかっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その日の体調に留意しながら、散歩などに取り組んでいる。自力歩行、手引き歩行、杖使用、車イス使用など、その時の状態において、臨機応変で対応している。ご家族との外出、外泊も受け入れ、帰園後の体調確認後、職員間で申し送っている。	外気に触れることでの効果や、気分転換を目的として、散歩を毎日の活動メニューに入れている。月に一度は車での外出を企画して社会とのつながりが途切れないように取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族よりお預かりしているお金で、生活用品など購入し、出納帳とレシートで、ご確認いただいている。時には自販機で飲み物を買われたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>携帯電話を持ち込まれておられる方は、居室内での使用を声かけしている。ご要望があれば、電話の取り継ぎも対応できるが、今のところ要望はない。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎日の掃除で、清潔保持に務めている。また、季節を感じていただくための飾りつけなど、行っている。その際には、異食などないよう、配慮をしている。</p>	<p>職員は、毎日の清掃を業務に組み込むことで清潔な環境の維持を図っている。リビングからは大きな窓をとおして裏山の四季を感じることが出来る。ゆったりしたソファをリビングに置き、くつろげる空間作りをしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファなどご自分の好きな場所に座っていただけるよう、対応させていただいている。2階へ上がって話をしたり、将棋をされたりも要望があれば、対応している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族がご本人と話し合わせ、居室の配置されるため、ご希望が実現できるように取り組んでいる。居心地よく過ごされるために、清潔保持（掃除、シーツ交換など）に取り組んでいる。</p>	<p>居室の配置は、本人と家族の希望を聞き馴染みの家具の持ち込みと思い出の写真や置物をおいている。週に一回はシーツの交換を基本として、清潔の維持に努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>転倒防止のため、動線の確保には配慮している。また、異食収集癖も起こりうることなので、置いている物などの安全について職員間で情報を共有して取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝の申し送り時に唱和し、職員間で共有している。理念の共有で行事やレクへの取り組みに実践できるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し、行事へ参加できている。散歩時には近所の方に声をかけていただく、ホームに入所されている方の顔を覚えていただけるよう取り組んでいる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	保育園の父兄の方には、ホームへの訪問を声をかけている。町内会の行事参加時には出来るだけ発言の場を設けていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度、2階地域交流室にて開催している。ホームの状況、行事報告、事故などの報告をし、参加いただいている方のご意見を伺い、職員間で共有している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事故報告は必ずすぐ報告して、時間経過の報告は必ず行っている。指導いただいたことは職員間で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	職員間でミーティング等により共有している。サービス時には職員間で対応を振り返りながら取り組んでいる。ご家族の要望で退院時、安全ベルト使用を求められた時は、承諾書を交付している。入所時は使用していたが見守りによって使用していない。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	職員間で対応を振り返って、確認しながら取り組んでいる。言葉の使い方も注意し合っている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	職員間で取り組みなし。今後の課題として捉えている。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約に至る前までにしっかりと説明させていただいている。ご理解いただいたうえで契約となっている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	ご家族からの意見は、社長へ報告し、職員間で共有している。運営推進会議で報告し、会議の内容もご家族へ文章にて報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>勤労意欲をなくさないために、希望休を聞いて対応している。職員の負担がない範囲で個々の相談にも耳を傾けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者とのメールなどの連絡で、勤務状況の把握をしている。職員に声をかけて、直接話ができるようにしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修案内を提供し、職員のスキルアップを目指している。研修を受け易くする為にも費用の援助に対応している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>個人としての交流参加は認めている。各研修への参加時に交流をもって、意識向上できればと考えている。個人での交流は認めている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接で情報をしっかりと得たうえで、職員間で共有している。信頼作りのために、ご本人としっかり話を持ち、ご家族には報告を密にとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	御本人とご家族の意向を職員間で共有し、取り組む。また、取り組んだ後でも、臨機応変に対応させていただけることを伝えて、相談しやすい関係を築くようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前面接でしっかり、意向を確認している。それに基づいたケアプランを説明し了承を得ている。情報も徐々に収集し、ホームの様子も振り返ったモニタリングをご家族に報告している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	知恵を拝借して、昔からの行事をとりおこなったりしている。できる事が少しでも多くなるよう取り組んでいる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	体調の変化や薬の増減など、必ずご家族には報告している。ホームで過ごしていただいていることでご家族が安心してご自分の生活を送られ、いつでも誰でも面会に来て頂けるよう、取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご近所の方（入所前の）、ご友人、ご親戚、ヤクルトさんまでも、面会に来られている。外出、外泊もご家族の了承を取ったうえで、実施されている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご自分で役立つことならと進んで手伝って頂いている。入居者様同士で関わって下さり、とても穏やかな時間が流れている時がある。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	今後、必要時に応じて情報提供など、協力体制をとる。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	小さなことでも毎日ご本人の思いをお聞きして、対応している。とにかくご要望をやってみよう前向きに対応している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	把握できている情報は活かし入居後の関わりで得られた情報は、職員で共有している。プライバシーには注意を払っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	体調管理を一番にあげて、痒み、痛みなど和らいだあと、ご自分の思う生活をしていただけるよう職員間で取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>生活への意向をうかがい、現状のアセスメントを行う。職員間で捉えた問題を解決できるよう、長期目標と短期目標をケアプランに起こし、ご本人、ご家族へ説明し意見を伺っている。短期目標の達成などについては、モニタリングでご家族に報告している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>職員によって、記録への力の差がでてくる。記録の重要性をことあるごとに、伝えているがまだ浸透していない。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>体調に留意をして、臨機応変に関わらせていただいている。職員の連携によってお一人おひとりの関わりに違いを出して取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内会から手先が器用な方への小物作りの依頼がある。近所で畑を作っておられる方は、訪問していただき、入居者様と話をさせていただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>契約時了承いただいたかかりつけ医の診察にて、専門医の受診を受け、体調に不安のない暮らしをしていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	訪問看護師への相談で、職員に安心が生まれている。必要時にかかりつけ医に連絡を取り、適切な指示を受けている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	後方支援として病院や老健とともに関係を築いている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	契約時に、説明させていただいている。ケースとしては未だないが、チームケアが出来るよう体制づくりをしている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急時に取り乱れないよう連絡先などは電話横に常時用意している。考えなくても体が動くよう何度も訓練を行う必要があると考えている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	消火訓練は何度も実施している。町内会の災害マップ作りに参加予定となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ファイルの持ち出し、コピーなどの管理は徹底している。会話の中にプライバシーが含まれることもあり、職員間で指摘し合って、注意を払っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	散歩に出たい要望があれば1階の職員や管理者に報告し、できるだけ要望が通るよう取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご自分で居室で過ごされる時間などを大切にしている。ころあいを見計らって、リビングへの声かけをして疲れないう観察している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご希望の美容院があれば外出支援をしている。ご自分で着る服も選ばれている。また、身につけていただけるよう、衣類の管理を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	アレルギーなど把握して、食事量が落ちないように取り組んでいる。盛り付け、下膳、食器の片付けなど出来る力で、一緒に取り組んでいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事が安心してできるよう，形態やアレルギーなどの把握に務めている。食事量、水分量は職員間で連携をとり、1日分確保し、記録している。体重は月1回測定し、医師、看護師に報告している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後，ご自分で取り組まれるよう支援している。難しい部分は，介助させていただいている。2週間に1回歯科医の往診時には，連絡，報告をおこなっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンを把握している。自立排泄の方へは，確実に排泄状況を把握するためにも，信頼関係を築き，確認とれるようにしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>薬局、看護師との相談体制が取れている。できるだけ便秘で不穏にならないよう，チームケアにて取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>リフレッシュして頂けるよう，湯温、室温などに注意して入浴していただいている。感染においても職員が身を守る取り組みをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	寝具の状態や室温などに配慮を行っている。夜間にひびかないよう、昼間は休息の時間は、職員が関わらせていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	管理を支援させていただくことによって、体調が安定するよう取り組んでいる。確実に服用できるよう、職員間で連携し、記録している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一日の楽しみをご自分で作って頂けるよう情報を集めている。お一人おひとりの要望がかなえられるよう取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	体調によって、自力歩行、手引き歩行、杖使用、車イス使用などで、対応させていただいている。行事等でご要望の場所に出かけられるよう取り組んでいる。 (お花見や清水劇場など)		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お預かりしているお金で、生活用品など購入している。出納帳とレシートで、ご家族に確認していただいている。時には自販機で飲み物を選んだりされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>携帯電話は居室にて、自由に使用されている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎日掃除にて、清潔を務めている。また、飾りつけにて、季節感を感じていただけるよう取り組んでいる。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファなど好きな場所でくつろいでいただけるよう声かけをしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族がご本人と相談されながら、居心地よい居室を作られる時、実現できるよう支援している。また、清潔保持のため毎日掃除をさせていただいている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>転倒防止のため、動線を意識している。収集癖の方もおられるので、置いている物に職員の観察を払っている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない



64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームなでしこ温品

作成日 平成27年3月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	個別の記録と実践への反映	記録において利用者様御家族様の希望に添えるケアが出来るように努めます。記録の重要性を徹底させます。	職員間で記録が共有できるように努めます。問題発生時には職員一同で検討できるよう努めます。	12ヶ月
2	13	職員を育てる取り組み	介護の技術 意識に温度差がある研修参加の声掛けは常時しています。職員に向上の意識を持ってもらいます。	職員同志でモチベーションを高めユニットで取り組む介護を目指し、自覚を持って介護します。	12ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。